

義会だより





01	-75	- /1	引会
91	- 1	F 15	1175

国体準備始まる	·· P2
村政を問う!	P6
12月定例会日程	P14
イモゾーファミリーと学ぼう 議会の豆知識②	
F AN EEDD! L. / L.O.	



平成28年第3回定例会(9月議会)が9月1日に開会し、一般質問、予算決算委員会を行い、27日に議案審議が行われました。議案審議では、行政報告、中央地区区画整備を含む村長提出議案等合わせて31件をすべて可決し、一般会計、特別会計など平成27年度決算をすべて認定しました。また、今回の補正の主なものとして、国体準備や庁舎5階の放射線防護対策工事を実施します。

請願については、建設農政委員会に付託されていた [東海村広域避難計画の策定にあたり、「『現実的な避難訓練の実施』と『計画の検証機関』を、茨城県及び東海村に求める意見書採択」を早急に求める請願] を賛成少数で不採択し、文教厚生委員会から提出された [教育予算の拡充を求める意見書] を全会一致で採択しました。

勝木田下の内線(仮称)神楽沢橋 H28.8.5現在状況



これから神楽沢橋付近の地盤改良工事を実施道路となります。木田下の内線は、中央地区の南北を通る重要な中央地区の区画整理が進められています。勝

・央地区の勝木田下の内線・

中央地区(仮称)神楽沢橋付近完成予想イメージ

(仮称)神楽沢橋

清掃センタ

神楽沢近隣公園

注釈)図中の建物等についてはあくまでも将来予想イメージです。平成29年度に開催予定の、 (仮称)神楽沢近隣公園検討委員会にて根崎緑地を含め一体的に検討・決定していく計画です。

いきいき茨城ゆめ国休2019

しています。

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ



ここをチェックしてください

学校がホッケー会場と 学習課内に国体推進室 に向けた作業を本格化 が設置され、国体開催 なります。7月に生涯 浦公園と県立東海高等 東海村では、阿漕ヶ

国体」が平成31年9月 とが正式決定しまし の会期で開催されるこ 28日から10月8日まで 「いきいき茨城ゆめ



改修中の阿漕ヶ浦ホッケー

最

みと報酬の

望ましい」との報告を受け、 で可決しました。 きなかったため、 **食特別委員会の設置について』が提出され、** 議員定数や報酬については十分な議論をすることがで 平成26年3月に設置した議会活性化特別委員会で、 終日に、 議員から『議員定数及び報酬に関する調 改選後早い段階から議論することが 調査スタ 調査・検討を進めること

賛成多数

になりました。

平成27年度決算すべて配定

『一般会計』

- ●公共用地賃貸料について、公平性の観点よ り、適正な賃貸料に是正すること。
- 業務委託料について、庁内で情報共有を図 り算出根拠など改めて精査すること(例え ば、施設警備、清掃作業など)。
- ●時間外勤務は、前年度に比べて改善効果が 見受けられる。適切な人員配置と管理職の マネジメントを行い、さらなる改善を図る こと。
- -などの意見を付けて認定されました。

『特別会計』

- ●常勤医師数の増員を図り、さらに良質な医 療を提供できるよう努力を求める。
- ●介護保険料の適正化を図りつつ介護予防事 業の充実と環境整備に努めること。
- ●勝木田下の内線の早期開通に向け努めるこ ٥ع
- ●未整備地区の整備を適切に進めるとともに 浄化槽整備事業の拡大を図ること。
 - -などの意見を付けて認定されました。







を早急に求める請願 海村に求める意見書採択 証機関』を、 訓練の実施』 にあたり、「『現実的な避難 東海村広域避難計画の策定 |請願第28||4号 茨城県及び東 と『計画の検

建設農政委員会報告

→不採択とすべきもの



豊創会

阿部 功志 議員

う視点も欠けている。第三者委員 政がやるから議会から言う必要な 会設置の要求は合理性がある。行 正でなく、村民のための計画とい 員会がするのはチェック機能が公 とは乱暴で無理解だ。 避難計画の最終判断を行政の委

反対

無会派

大名美恵子 議員

平成28年度東海村国民健康

議案第69号

保険事業特別会計補正予算

(第1号)

請願は、あまりに当然。これらに 行部に意見しても何ら問題はない。 ついて議会が住民の声を代弁し執 「実効性の検証機関が必要」との 「計画策定前の避難訓練実施を



光風会

恵利 いつ 議員

ければならないと考える。 原発再稼働が進められる現状にお 避難訓練の必要性を訴えている。 くの時間と労力を割いた中で広域 いて、実効性の高い避難計画でな 体議員と意見交換を行うなど、多 請願者は、避難受け入れ先自治



無会派

清宮 寿子 議員

めに、現実性と実効性が適切であ める当請願は当然の要求である。 するための第三者機関の設置を求 画を策定し、計画の実効性を検証 る。避難訓練を実施し、その上で計 ることの検証は必要不可欠であ 村民のいのちと暮らしを守るた



無会派

大名美恵子 議員

反対。 8年度からの国保事業県一本化に 出のためのシステム変更予算には 向け、村が県に提供するデータ抽 公的医療保険を破壊する201

認定第1号

平成27年度東海村一般会計 歳入歳出決算の認定につい



大名美恵子 議員

住民負担増を強いたことである。 行政サービスを打ち切り、多大な 胆にすすめるとして、いくつかの 最大の問題は、第4次行革を大

> 平成27年度東海村国民健 決算の認定について 保険事業特別会計歳入歳出 認定第2号



無会派

大名美恵子 議員

財政運営に近づける。市町村国保 きである。 運営の安定的基盤整備は、 十分支出し国の責任でこそ行うべ 対象レセプトの拡大は広域的な 国費を

の認定について 平成27年度東海村介護保険 認定第4号 業特別会計歳入歳出決質



無会派

大名美恵子 議員

制度とは言えない。さらなる基金 の活用で保険料は据え置くべき。 上げられたことは、利用しやすい 事業改悪と同時に保険料が引き

調査特別委員会の設置につ 発議第2号 員定数及び報酬に関する



豊創会

阿部 功志 議員

置案は課題に触れず、話し合うべ 名分も説得力もない。 うという意欲が乏しい。 をよりよく変え、住民に広く開こ き優先順位を無視している。 方式などから見直すべきだが、設 議会の改革には不公正なドント 何の大義 議会

公明党

岡崎 悟

議員

記されている。議会として速やか ができなかった。改選後早い段階 な議論が必要。 から議論することが望ましい。 議員報酬については、十分な議論 委員長報告で、「特に議員定数や 改選前の議会活性化特別委員会

酬を周辺自治体に学んで議論を深

委員会設置趣旨は、

定数及び報

光風会

江田

五六

議員

めるとある。近隣自治体には定数

を削減し、報酬をアップした市が



無会派

大名美恵子 議員

委員会は必要ない。 数削減と、報酬引上げにつながる なにより重要。これに逆行する定 議会は、住民の多様な意見反映が 原子力施設が多数立地する本村



無会派

清宮 寿子 議員

若者の意見が議会に反映され、組 る。 活性化から逆行している。 報酬に特化した特別委の設置は 織を持たない住民の小さい声が届 く議会にしたい。しかし、定数と 特別委の設置目的が不明確であ 農業、商工業従事者、女性、

一哉貝の貝 (議業寺で質合の分かれたもの)																					
	新政とうかい							光風会		豊倉	創会 公田		月党	弁	無会派						
	鈴木	飛田	村上	舛井	大内	越智	河野	武部	吉田	寺門	笹嶋	江田	恵利	村上	阿部	岡崎	植木	大名美恵子	清宮	新垣麻	結果
	曻	静幸	邦男	文夫	則夫	辰哉	健一	愼一	充宏	定範	士郎	五六	いつ	孝	功志	悟	伸寿	意子	寿子	麻依子	
請願第28-4号	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0	×	×	0	0	×	不採択
議案第69号	0	0	0	議長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	可決
認定第 1号	0	0	\circ	議長	\circ	0	0	0	\circ	\circ	0	0	0	0	0	0	\circ	×	0	0	認定
認定第 2号	0	0	\circ	議長	0	0	0	0	0	\circ	0	0	0	0	0	0	\circ	×	0	0	認定
認定第 4号	0	0	\circ	議長	0	0	0	0	0	\circ	0	0	0	0	0	0	\circ	×	0	0	認定
発議第 2号	0	0	0	議長	0	0	0	0	0	0	0	X	X	0	×	0	0	X	X		可決

○…賛成

自の事情・議会活動の状況・世論

ある。議員定数や報酬は、

本村独

社会情勢等をもとに判断すべき。

×…反対

議案名。要旨 広域避難計画の策定にあたり、「「現実的な避難訓練の実施」 及び東海村に求める意見書採択」を早急に求める請願 『計画の検証機関』 を、

避難計画策定にあたり、 避難訓練の実施と計画の実効性を検証するための第三者機関を設置を求める請願

69号 平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算

久镁呂。巷不ᇩ。

国民健康保険事業特別会計の執行にあたり、補助金や交付金の補正を要望する議案

平成 27 年度東海村

般会計における歳入歳出の決算

27 年度東海村国民健康保険事

平成 27 年度国民健康保険事業特別会計における歳入歳出の決算

平成 27 年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算について

平成 27 年度介護保険事業特別会計における歳入歳出の決算

議員定数及び報酬に関する調査特別委員会の設置について

議員定数及び報酬のあり方について、 幅広く調査すること及び充分な議論を行うために設置を求める議案

村政を問う!

2 下水道の整備状況

3 農業担い手育成と農業用地 4 大規模太陽光発電の規制



一般質問とは、村長や教育長、部長に対して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を

述べ、時には是正を求め、村政をより良い方向/ 再質問、再々質問まで許されています。	∖導くものです。議員の質問時間は1人 30 分。
円負回、円々負回めて同じれている9。	
植木 伸寿 議員 P7	武部 愼一 議員 P11
1 災害に強いまちづくりに向けた取り組み 2 子育てに優しいまちの実現に向けた環境整備	1 学校教育における子どもと向き合う時間の確保 2 社会インフラ整備に関する公共施設等の総合管
3 村公式アプリ「こちら東海村」	理計画、長期計画等の検討状況 3 地震、大雨等による急傾斜地土砂災害警戒区域
笹嶋 士郎 議員 P7	等の状況
1 商工会への職員派遣による派遣効果 2 青少年のスポーツ振興の取り組み	4 東海村除染廃棄物の処理・処分等の今後の対応 5 東海村で開始された原子力人材育成の検討状況
村上 孝 議員 P8	恵利 いつ 議員 P11
1 歴史と未来の交流館(仮称)の複合施設化	1 人口減少社会における公共施設建設のあり方 2 地元業者への支援・育成と談合防止
2 環境価値を高める土地利用 3 認定農業者の位置づけと考え方	3 めじろシール廃止の経緯と新たな農業支援策
4 新川管理に関する協議会の進捗状況	江田 五六 議員 P12
大内 則夫 議員 P8	1 29年度予算編成にあたっての基本的な考え方 2 超高齢化社会に対応した東海病院の今後
1 集中豪雨による冠水対策 2 中央地区区画整理事業	3 村の表彰制度
3 太陽光発電施設の設置規制4 介護相談員派遣事業と家族介護用品給付事業	4 TPPの村としての対策
	大名 美恵子 議員 ········· P12
阿部 功志 議員 P9	1 本村教育における部活動の現状と課題 2 幼稚園・保育所等・学校における遊具、体操器
1 ガラス固化施設の運転停止の実情と村民への周知 2 パブリックコメントの周知徹底と形式	具の必要性と安全管理
3 参院選の選挙公報を全戸配布しなかった理由 4 避難要配慮者の把握状況	3 社会保障改悪構想への対応 4 東海第二の放射性廃液漏れ
5 相対的貧困家庭について村内の実態は	5 避難計画策定・安全協定の見直しと東海第二原 発再稼働問題
清宮 寿子 議員 P9	6 激しい降雨による被害対応
1 広域避難計画案の検証	鈴木 曻 議員 P13
岡崎 悟 議員 ········· P10	1 排水路の清掃 2 上下水道の耐震化
1 村職員の育成 2 プレミアム付商品券の発行を求める	3 学校経営
3 豪雨に伴う排水路対策 4 防災関連対策	4 東海高校に新設科の考え方 5 箕輪地区の今後の計画
寺門 定範 議員 P10	新垣 麻依子 議員 P13
1 道路整備と維持管理の計画	1 健康づくりの支援 2 女性の活躍推進と子育て
2 下水道の整備状況	

※議会ホームページでご覧いただけます。

とうかい版ネウボラの進捗は

早期に包括支援センターを設置

捗は。

ボラの設置に向けた進

とうかい版ネウ

伸寿 植木 公明党 議員

行っている。 必要なサービスへとつ やヘルプサポートなど じ、アドバイザー派遣 問を実施。必要に応 による乳児家庭全戸訪 別相談のほか、助産師 帳の交付時における個 ターによる母子健康手 娠・出産コーディネー トでの情報発信なども 育て応援ポータルサイ なげている。また、子 福祉部長 村では、 妊

研究をしたい。

推進する。ドゥーラに

メニューを増やすなど

ような効果が見られる

商工業者の育成にどの の派遣職員の業務が、 行ってこなかった。こ と最小限の支援しか 売は自分でするもの」

ついては先進自治体の

援」のメニューが増え 手の良い「子育て支 ることを期待する。 今後も、 使い勝

のように、保健、

福祉

アシステムの子育て版

地域包括ケ

などの関係部署・機関

置したい。 事例に習い、 事例がある。そうした 決にあたっている先進 がチームを組み問題解

早期に設

健康手帳交付時の様子

寄り添う支援者のこ いるか。 福祉部長産後ケアの (産後間もない母子へ 村ではどう捉えて の取り組みもあ 産後ドゥーラ

る。

り組みを伺う。

特に、産前・産後の取

子育て支援でも

議員

今まで村は、「商

展のためには、

な効果と考えている。 ることが、1つの大き

商工会の強化発

会・商工会業者自らが

職員派遣効果は

商工会と村は車の両輪

新政とうかい 笹嶋 士郎



員のみならず事務局と 展のため、 村は、地域の商工業発 のか伺う。 務局職員とともに商工 遣職員が、 あると考えている。派 なって取り組む必要が 村長公室長 ことにより、 トなどに共に取り組む 会青年部などのイベン 車の両輪と 商工会の事 商工会会 商工会と 5, は、 考えを伺う。 ようとする商工業者 村長公室長

らいたいと考える。 の一歩を踏み出しても の支援となることか 活性化への取り組み 後、村が実施する地域 援は継続しつつも、今 求められると思うが、 すためのチャレンジが 手を上げ、自ら動き出 自らチャレンジし 商工業の方にはそ 既存の支

環境価値を高める農地利用は

地域と共存する利用へ

が進んでいることか する農業機械も大型化 模の拡大に伴い、

導入



を行い拡充に努める。 重要な取り組み。 を深めることができる 販売の楽しみが体験で 園は自給自足や生産物 建設農政部長 業者の支援について伺 心的な経営体。認定農 本村の農業を支える中 地域農業への理解 認定農業者は、 経営規 検討

建設農政部長

東新川

を伺う。

捗状況と対策を伺う。 続増水。改修工事の進

また久慈川の増水対策

水被害が生じやすい状る集中豪雨により、湛ついては、想定を超え 対策手法を検討する。 努めている。 区の湛水防除の強化に タートさせ、 改修工事は 水量等について調査し などを進め、 機場に流れ込む排 本年度ス 久慈川に 真崎浦地 堤体補強

策を。 るため、家庭菜園など ある農地を有効利用す 建設農政部長 植極的な利用を図る施 住宅地の狭間に 家庭菜

> 問 対策手法を検討

東新川と久慈川 東新川は3年連 0



を行った。(100

金の上限額引き上げ 機械購入に伴う補

から200万

央地区区画整理地内の 備状況は

32年度末までに順次整備予定

則夫 新政とうかい 大内 議員



図 1 中央地区道路の整備状況



台線は、 整備計 業計画中。 先の原研通りまでは事 は平成29年度暫定開 勝木田下の内線の一部 状況を伺う。 理地内の主な道路整備 記載してあるように、 建設農政部長 31年度開通予定、 中央地区区画整 画で進めて 32年度までの 石橋向荒谷 図 1

再処理施設の事故の危険性は

答

危険な状態の前に機能回復



問 がない。事業所に確認 確保できるとしている。 地境界で0.1mSvにな 復できないときの答え 設備等により安全性を これに対し、移動式の ると想定されている。 答えばかりで、機能回 日程上難しい戸配布しない 選挙公報、なぜ全 大丈夫だという

課題の確認を。

設と個別に話し合い、

避難について施

話し合う

タイミングを見て

選挙公報を全戸配布し 7月参院選でも 間がかかる。 画を見ながらなので時 で説明会や個々の事業 期の適切なタイミング る。施設ごとの避難計 者との話し合いを進め 福祉施設と計画策定時 村民生活部長 施設の負担にな 病院や

広域避難計画に議会の検証を

議会への審議依頼は考えていない

らないように。

なかった。

総務部長 シルバー人



も、日程上難しい。 材センターに頼んで

商店などに置かせても

一・駅・銀行・病院・ してスーパー・コンビ

今後、置き場所と

これは制度的欠

再処理施設の外観

は。

故が起きたときの影響

総務部長

有効な取り

組み。検討する。

議員

再処理施設で事

らっては。

評価により研究所の敷

村民生活部長

リスク

問

避難について施設 と話し合いを

清宮

を取りまとめ、

関係自

行していく。基本計画

体的に計画を策定し実

きである。考えを伺う。 ために議会が検証すべ

る。

村民生活部長

村が主

まってくる。 現実性・実効性が高 検証、修正することで で策定・決定されるた 機関である。避難計画 を監視・チェックする 訓練を繰り返しながら 治体や機関とともに、 「東海村防災会議」 議会は執行機関

がある。 ることを確認する必要 性と実効性が適切であ ることを、また、現実 の意見が反映されてい め、計画策定前に住民 村民生活部長 議会を

反映されたか、 での要望等が、 住民の意見や6月議会 いのちと暮らしを守る た住民意見交換会での 5月に実施され 計画に 住民の どを繰り返すことで、 性・有効性を検討し、 等については、 計画の検証に応えられ 反映していく。 含め多方面からの意見

訓練な

られるよう執行部が責 証が必要。 のために、議会での検 の理解という魂を入れ うに、計画には、住民 任をもって策定する。 なければならない。そ れず」の故事にあるよ 住民の理解が得 「仏作って魂入



真崎地区防災訓練の様子

プレミアム付商品券発行を 求める

前回と同額で20%割増しを検討

岡崎 公明党

用が70%近 ができない るが、商品券の金額の 商店での利 村長公室長 か、伺う。 品券の発行 海村商工会によるプレ り、個人消費の押し上 多くが消費者負担であ 分の2%は、税金であ 用された。商品券割増 ミアム付商 性化につながった。東 げによる地域経済の活 地元中小

を訪ね、「プレミアム が極力少なくなるよう みなどを商工会と検討 取り組みが進む中で、 店が増えることを期待 取り組みを実施する商 高めて、 商店が、 前回と同額の発行金額 している。このような ス情報などを発信する に考えたい。 している。 購入希望者の負担 郵送による申し込 20%の割増を目安 独自のサービ 個々の魅力を 今後は地元 販売方法

では8165万円が利 が利用され、中小商店 の商品券を発行した。 万円(20%の割増付) た。昨年は、1億2千 める要望書を提出し 付商品券」の発行を求 大型店で3782万円



から北側の整

域の現状は

おおむね10年で既成させる

新政とうかい 定範

多くを占める

間の整備は。 画を伺う。ま た、2車線区 建設農政部長 石神交差点

の地域のうち ら北側は、4 石神交差点か 国道6号沿い 範囲の整備計 でおり、この 車線化が済ん



下水道マンホー -ルと整備予定



7月25日に村長

の効果があったと認識

普及率と今後の整備計 経過している。 供用が開始され28年が は、平成元年から順次 画を伺う。 東海村の下水道 現在の

合わせて整備する。 地域等は、事業進捗に 中央土地区画整理事業 10年で既成させる計画。 整備区域は、おおむね 現在85.7%である。未 建設農政部長 下水道 の普及率は、27年度末 未整備区域の

ていく。 検討を求めたい。 だけ利用しない方法の 村道に下水道を施設 国道の下をできる 国道近くにある

側から整備を進めて 平成29年度から、 影響で遅れたが、 省に4車線化を要望し する予定。2車線区間 は平成31年度から整備 は、 引き続き国土交通 国道沿いの東側は 東日本大震災の 西側

公共施設総合管理計画等の 検討状況は

今年度中の公開を目指す

ビルドを絶えず念頭に

限らず、スクラップ&

施設等を更新するとは

置き、次の世代へつな

武部 新政とうかい 愼

> リスクの数値化は、 りの方向を示すもの。

具

ジュールを定めるため

体的な運用計画のスケ

の作業である。全ての

優先順位」はまちづく めのもの、「重みづけ 業を俯瞰して見渡すた 理計画」は全庁的な事 画等は、 重要な事業。「総合管 しごと創生」に非常に

いる。

副村長 直し、 30 た計画として進めてい て に合うように計画を見)年間を計画期間とし いるので、 この計 演は、

その時代に適し その時代

総合管理計画、 からの「まち・ひと・ 備に関する公共施設等 社会インフラ整 東海村のこれ 長期計

う計 要素を5段階評価で行 能、 を原則とし、 きるよう作業を進めて め今年度中には公表で \mathcal{O} 施設老朽度、 施設管理経費等の 建設年の順に更新 画として作成を進 施設ごと 耐震性

公共施設等総合管理計画策定指針の概要

研集のまち、大リを見解えた検討 ○ 修博・更新の度歴の集積・重積 議会・住民との情報及び提供認識の共有 ○ 公共洗股等の安全性の確保

させ70年間使用するこ

中の

「歴史と未来の交

況において新たに計画

建築物を長寿命化

務部長

本 計

画

で

ジュール、概要等を伺 のもの。今後のスケ

公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策の推進イメー

を明確にしていくため

公共施設等総合管理計画策定指針の概要(2)

公共施設等の管理

○ 長期的現点に立った老朽化対策の推進○ 適切な維持管理・修繕の実施

○ トータルコストの総滅・平準化 ○ 計画の不断の見直し・充実

な社会インフラは何か いで、その時代に必要

公共施設の 設活用に疑問

O.計画的な点検・診断

「歴史と未来の交流館」

性化を図っていく。

現

今も届けられている。

観光協会が中心と

の認知度向上、

利用活

血 の

税。

建設反対の声が

維持管理費はすべて

建設費、その後

なるようにアイヴィル

恵利 光風会

0)

情報発信の場と

り

村長公室長

地域交流

る施設になってい

を学び交流するため ゆる世代の村民が郷土

複合機能を有する交流

は必要と考える。

上。しかし、いまだ住 に年間4000万円計

維持管理費

学習の場が少なかった。

少年をはじめ、

あら

など)を活用した体験

身近な地域資源

(遺物

民に十分活用されてい

来にわたり重くのしか 等大規模施設の建設が た取り組みを検討中。 管理、改修費などが将 な建物であるが、維持 続いた。これらは必要 なり利用活性化に向け かるのは必至。この状 学童クラブ 2施設 ここ10年、 村松宿こども 学校



在のアイヴィル)

は、

村が1年前に取

流館」 えるべき。 教育次長 建設は慎重に考 本村 では、



いまある施設を賢く使う工夫を(アイヴィル)

11

問 高齢化社会 海病院の役割

訪問診療を含め、 継続的に検討する

> 江田 五六 光風会

う。その役割を担うの もが住み慣れた我が家 機問題である。この対 全国的な2025年危 題が露呈し、大きな社 医療を望んでいると思 スを受けられるような 策の一環として、誰 会問題になる。これが 年金の大幅削減等の問 時間対応の在宅サービ 及び地域で暮らし、

が東海病院と考える。 福祉部長 委託先の 24

後、医療・福祉・保険 期高齢者になる9年 費用が膨らみ、一方で 村長 予算編成が必要。 多くの課題が山積して 化 の格差拡大、雇用の悪 よう積極的な政策立案 手掛かりになるような いる。この課題解決の Aーロボットの出現等 いる課題等に対応する 健康格差、そして 各部局が抱えて

や事業化を指示する。



協会との連携・協力体

(公社) 地域医療振興

について、継続的に検 後の病院運営の在り方 問診療なども含めた今 制を強化しながら、

討していく。

成の基本的な考え方と

来年度の予算編

日然災害の激甚化、グ して地球温暖化による

早期の実現に

支柱のぐらつきなど、

継ぎ部分の緩み、

目視、触診、打診など

大名 美恵子

> 施設製品整備技師によ 士の管理のもと、公園 公園施設製品安全管理

破損、

摩耗の具

望ましい。教育委員会 り、本来どの子にも等 成長・発達の段階、特 遊具ではないが、ブラ は、「体育のカリキュ 性を捉えた整備であ ラムに位置付けられた しい環境であることが 重要なのは、子どもの により点検している。 ンコは運動神経系の発 遊具等の設置で



団塊の世代が後

ローバル化による貧富

要。学校等に設置され 操器具の役割は大変重 発達を助ける遊具・体 たちにとり、心身のバ た遊具・体操器具類の ランスが取れた成長・ 成長期の子ども とのことだが、利用で

きないままでいる舟石

いに有用」と判断する 達期の子どもにとり大

校とも相談し、早期の 考え方はあるか。 最短距離で再設置する 実現に向け調整する。 の安全を最優先に、学 教育次長 子どもたち 川小学校のブランコを

施設の点検を委託し、

教育次長 毎年、遊具 安全管理体制を問う。

舟石川小ブランコ

問 照沼小学校の今後について

特認校を目指す

新政とうかい 曻 議員

学校の特色を最大限に にも特徴がある照沼小 校の制度を活用して、 今後の運営について まれた中で、独自の教 ている。しかし、 況が続くものと推計し 生かせる方策を検討し 小規模ながらも地域 を特例的に認める特認 あると認識している。 は豊かな自然環境に囲 育活動が盛んな学校で 学区外からの通学 同校

> 携を図りながら、 詳細に調査したうえ 組みができるよう検討 域の方々とも十分に連 していく。 している学校の状況を 小学校ならではの取り 学校や保護者、 照沼 地

照沼小学校

明るくあれ くあれ まじめなれ 昭和56年12月17日制定

議員

歳から4歳の有業率は の茨城県の数値では15

3%

年代別では

村長公室長 平成24年

年、

減少傾向が続

の変化等により、 の児童数は、社会情勢

近 11

100人に満たない状 ており、ここ数年は



照沼小学校

働きやす 子育てしやすい村に

校訓

かしこ

環境整備をすすめていく

新垣 麻依子

無会派

てをする女性が増えて あり、働きながら子育 の利用者は増加傾向に

いる。

壁を感じる。 に勧奨。事業所に対し るのが実状。男性を対 は休暇等の活用を個別 象とした子育て支援に でなく男性も同様であ と仕事の両立には高い 村長公室長 ついて伺う。 現状では子育て 役場内で 女性だけ



徒数は減少傾向にあ

既に特認校制度を実施

推計と今後の学校

運営について考えを問

議員

照沼小学校の生

村としては、

県内で

う。 いるが、 組みが一層求められて 会の実現に向けた取り の就業状況について伺 男女共同参画社 東海村の女性

> 啓発を図っている。 養成講座開催など意識

て6事業所を認定して 参画推進事業所」とし

いるほか

「イクボス」

9 % を 10 %、 暇及び育児参加のため 児参加の 配偶者出産休暇及び育 率は育児休業が0%、 の休暇取得率100% 後には育児休業取得率 知等を図り、 取得率はともに42: を目指す。 総務部長 男性職員の休暇取得 今後は制度の周 配偶者出産休 ための休暇 平成27年度 4~5年

心に低く本村でも同様 30代の子育て世代を中

の状況と推測される。

本村における保育園等



ては「東海村男女共同

新しい委員会

議員定数及び報酬に関する調査特別委員会 ◎委員長 ○副委員長 委員会名 人数 所属議員名 的 悟 五六 静幸 ○岡崎 鈴木 曻 ◎飛田 議員定数及び報 東海村議会における議員定数及 孝 辰哉 村上 江田 越智 酬に関する調査 10人 び報酬に関して調査並びに議論 定範 河野 健 寺門 笹嶋 士郎 特別委員会 すること 新垣麻依子

12月定例会日程(予定)



村内各コミセン 合福祉センター「絆」 でライブ配信中

期日	時間	内容	期日	時間	内容
12月 1日(木)	午前10時~	開会	12月14日(水)	午前 9時~	予算決算委員会
12月 9日(金)	午前10時~	一般質問	12月15日(木)	午前10時~	予算決算委員会
12月12日(月)	午前10時~	一般質問	12月20日(火)	午前10時~	議案審議
12月13日(火)	午前10時~	一般質問			

※日程は変更になる場合があります。

※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、ど なたでも傍聴できます。 (受付は30分前から)

-般質問」 ってなんですか?

一般質問は年4回の定例会(3、6、9、12月)で行われ、臨時 会ではできません。

村の一般事務について、議長の許可を得て、質問するものです。

一般質問の範囲は、具体的には東海村が処理する一般行政、教育な どの質問が対象です。また、通告制を採用する本村議会では、質問者 が一般質問の項目と内容を事前に議長に示します。議長はその質問項

> り、PRや活動準備の費用が計 国体」開催まで残り3年とな

審査認定などを行いました。 を可決、27年度歳入歳出決算の

一般質問、28年度補正予算

今回の補正予算には、「茨城

上されました。

目と内容を理解して、質問と

答弁がかみ合うように議会運営を行います。

質問内容が村行政に全く関係ないものや、議

の品位を傷つける恐れがあるようなものは、議長が許 ないことになる場合もあります。**質問なので、お願い** お礼は厳に慎むものとされています。

委員

副委員長 長 員

岡崎 吉田 清宮 新垣 **!麻依子** 悟

恵利

阿部

議会報編集委員会

報の発信に努めます。 (岡崎 悟

置されました。 議会の動きが伝わるよう、

が進んでいます。 酬に関する調査特別委員会が設 の議案により、議員定数及び報 るなど、「茨城国体」 19」の正式な開催日程が決ま また議会最終日に、 いきいき茨城ゆめ国体20 「国体推進室」 が設置され への準備 議員提出

編集後記

お詫びと訂正

東海村議会だより第25号(平成28年7月25日発行)2ページの記事に誤りがありました。

読者の皆様ならびに関係者の皆様に御迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

⇒ 正)冬はウォームビズ!エアコンは20℃

ら発行7年目に入りました。 8月の創刊で、今回の第26号か 平成28年度第3回定例会で 議会だより」 は、 平 成 22

この議会だよりは再生紙を使用しています。